

## 麻妻大使によるオシレ難民キャンプ訪問 (令和7年2月25日)

2025/2/25

令和7年2月25日、麻妻大使はゴールドソン（Ms. Erika Goldson）国連人口基金（UNFPA）ナミビア代表とともに、UNFPA が日本の補正予算で実施したプロジェクト「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」について視察するため、オチョゾンジュパ州のオシレ難民キャンプを訪問しました。訪問の中で麻妻大使とゴールドソン代表は、プロジェクトで裨益した難民たちと対話し、同難民からは「生理用ナプキン製造プロジェクト」についての喜びの声が伝えられました。



裨益した難民の活動を視察する麻妻大使とゴールドソン UNFPA 代表



裨益難民との記念撮影

※写真は UNFPA による提供